

会報



庄原ロータリークラブ

SHOBARA ROTARY CLUB

2012~2013年度

- 例会/火曜日 12:30 庄原グランドホテル
/夜間例会 19:00 庄原グランドホテル
- 事務局/727-0013 庄原市西本町2-18-8 302号
TEL.0824-72-5500 FAX.0824-72-5500
E-mail:s-rotary@alto.ocn.ne.jp
- 会長/滝川 聖治 ●幹事/田邊 良三

上野公園の桜(庄原市)

2012年9月11日例会記録

8号(858)

- 2012年9月18日のプログラム
- 次回のプログラム

歴代会長卓話
プログラム委員会担当

会長挨拶 滝川会長



「オープンガーデンに関して」

皆さん、今晚は、今夜は去年から開催されている庄原のオープンガーデンについてお話しいたします。

今年は春に開催されて、また秋に、9月の末頃から開催されます。当初は庄原市内の庭好きのうちの10軒くらいでスタートしましたが、今は20軒以上にふくらんでいます。

このオープンガーデンの活動については、庭主を中心とした「しょうばら花会議」が庄原市や庄原市観光協会と一体となって取り組んでいます。

庭主の皆さんは、お客さんに喜んでいただこうと、以前にもまして、庭の手入れに励んでおられます。私の家も花会議のメンバーのひとりで、庭を開放して庄原市の活性化、なかんずく比和町の活性化に一役かっています。

私の家のケースを申しますと、春のオープンガーデンの期間中には1300人くらいのお客さんになりました。その中の約7割は広島方面でした。遠くは山口県や鳥取県や島根県の各地からも来られました。庄原市全体では延べ1万6000人くらい来られています。当初は庄原市内で食事をするのが大変だったようです。

私どもも、庄原のオープンガーデンの反響の大きさに驚いています。まさかこんなに来られるとは思っていませんでした。但し庄原市近隣の方が少ないのはちょっと残念です。多分何時でも行けるとっておられるのでしょうか。

オープンガーデンの時期に私はどうしているかと言いますと、無論女性をアルバイトに二人お願いするのですが、それでも足りず、一日中ひたすらケーキの盛りつけと皿洗いです。立ちっぱなしなので非常に疲れますが、小さな比和の町に遠くからたくさんの方が来られたかと思うと、感動です。

お客様はほとんどが私たちの年代の夫婦ですが、お話しするとそれぞれの人生があり、楽しく充実した時が流れます。まさしく一期一会です。

以上で会長の時間を終わります。ありがとうございました。

奉仕を通じて平和を

2012～2013年度RI会長
田中作次

幹事報告

1. 本日の配布物・・・①ロータリーの友 9月号
2. 庄原グランドホテルより、役員改選の挨拶状がきております。

出席報告

会員数 36名 出席者 26名 MU 8名
欠席者 2名 出席率 94.44%

スマイル報告

木原会員・・・昨日の雨でやっと暑さから解放されそうです。
滝川会員・・・今日は秋晴れの中ゴルフができて幸福を感じました。
渡辺会員・・・味覚の秋が来ました。
皆さん食べ過ぎに気をつけよう。

「ロータリーの友 9月号」内容紹介

雑誌会報委員会担当



米山奨学事業の基礎知識 (P26) 他 — 寄付金・財政編 —

- ★皆様の寄付金は全て奨学事業に
- ★会員数減少でも寄付者は増加
- ★全ての寄付金に税制優遇が受けられま
- ★2013年度は8年ぶりに採用数引下げ



■プログラム

歴代会長卓話

八谷文策 (17代)



私は2009年～2010年度に会長を務めさせて頂いた八谷です。幸い幹事に現会長の滝川さんという素晴らしい人に恵まれて無事終わりました。しかし、前後に山口会長また内田会長と素晴らしい会長が揃っていて悪い方で目立ちました。

さて、ロータリーは1年毎の事業であり、そのエンドレスと習い、ならば何を止めて何を新しいことをと考えましたが思い当たらず結局前年までの踏襲になりました。その中で、私の年度に2人の休会会員に対し、休会という制度は見通しのある

病気に当てはめる制度であるとの見解で退会勧告をして辞めて貰いました。また、退会届を出した会員に復帰していただきました。この2件は心に残る案件でした。

■プログラム

歴代会長卓話

中原 巧 (19代)



歴代会長の卓話をいうことになっておりますが、今日は卓話ということではなく、皆様にお話しということでお話しさせて頂きたいと思っております。

私の会長年度の所信表明にありました中に1点だけ取り組みができていないということがあります。その事を是非取り組んで頂きたいという勝手な願いをして私の卓話にさせて頂きたいと思っております。

それは、庄原RCが本来どうあるべきなんであろうかということ、3年或いは5年のスパンで長期計画を立てよということ指導されていましたが、このことに取り組むができませんでした。このことは非常に残念でありました。もしもこの長期計画ができていれば、どなたが役員になっても、ある一定の見直しを常に修正を図りながらその計画に沿った運営ができるという利点があるかと思っております。今、このような厳しい社会情勢の中では、特にこのことが必要なことではなかろうかと思ひ、本日お話をさせて頂きました。